

学校名	川口市立北中学校
所在地	川口市大字道合364-2
電話	048-295-1008

1 本校の概要

平成28年度に創立70周年を迎えた本校は、生徒数689名、18クラスで構成された学校である。「賢く 逞しく 温かく」を学校教育目標に掲げ、「自ら学び、自ら考えて行動する生徒」「心身ともに健康な生徒」「心豊かで、思いやりのある生徒」の育成を目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

図書室の利用促進と読書体験増加のための環境整備

(2) 実践の概要

ア 図書館司書による図書室の利用促進活動

- ① 各学年フロアに、それぞれの学年生徒の興味を引くような本を掲示している。
- ② 図書室の利用を促すため、図書室の開室時間、利用方法、蔵書などの情報を「図書室だより」に掲載した。また、読書週間にはポスターを作成して、読書を積極的に行うよう呼びかけた。



- ③ 図書室の本棚の上にお薦めの本を飾るなど、入口から本が目立つような配置の工夫をし、本により興味をもってもらえるようにした。



イ 図書ボランティアによる環境整備活動

図書ボランティア（学校応援団）による本のカバーかけ、修理、季節の飾り付け等の環境整備を積極的に行い、生徒が楽しく利用できる図書室となるよう心がけている。また、手作りのしおりをプレゼントするなど、読書に関心をもってもらえるような企画づくりも行っている。



ウ 図書委員会生徒の活躍

図書委員の生徒が、図書室利用を促すポスターを作成、掲示している。新刊購入時には、「図書館だより」新刊紹介号を発行し、委員会生徒による書評を掲載。新刊書籍への、生徒の興味関心を高めていくような活動をしている。



エ 朝読書の実施

生徒に読書の習慣をつけてもらうきっかけづくりとなるように、朝読書を全校で実施し、教員も一緒に読書に取り組んだ。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 図書館司書、図書ボランティア、図書委員の活動により、図書室利用者を増やすことができた。
- イ 朝読書実施により、本が身近に感じられるようになり、休み時間にも読書をする生徒の姿が見られるようになった。

(2) 課題

図書室の来室人数は確実に増えてきているものの、学年が上がるにつれて利用者が少なくなる傾向にある。今後も図書館司書、図書ボランティア、図書委員会が連携し、活気あふれる図書室づくりを行っていきたい。